

平成29年度行政評価シート【個表】

平成 29 年 6 月 19 日

評価対象事業		評価者	文化財課担当課長 西山 朗	
文財-07	実施事業	公開宣伝事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課 文化財課
	まち・ひと・しごと		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課
総合計画上の位置付け	分野	歴史環境	施策の方針	文化財の保存、調査・研究、情報の充実

1 事業の目的

対象	市民等
意図	市内に所在する文化財を紹介し、郷土への理解を深めるとともに、文化財愛護の精神の高揚を図るため。
効果	郷土への理解を深めるとともに、文化財愛護の精神の高揚を図ることにより、文化財を保護・保存し、文化財を後世に伝える。

2 平成28年度に実施した事業の概要

郷土芸能大会、文化財めぐり、遺跡調査・研究発表会、埋蔵文化財の遺跡調査速報展・地下道ギャラリーパネル写真展・庁内展示・現場見学会等の実施や、鎌倉の埋蔵文化財等の出版物の刊行等を行った。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	27年度決算		28年度決算		データ区分	29年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	177,243人	80,676世帯	176,869人	80,928世帯	176,466人	81,150世帯		・各年3月31日 (住民基本台帳)
事業の対象者数								
事業の対象者数								
運営資源状況	決算値(千円)	1,596	1,560	当初予算(千円)	2,199			
	国県支出金	84	185	国県支出金	122			
	地方債			地方債				
	その他			その他				
	一般財源	1,512	1,375	一般財源	2,077			
事業経費運営	人員配置数	1.0	1.0	人員配置数	1.0			
	人件費(千円)	7,774	7,809	人件費(千円)	7,853			
	総事業費(千円)	9,370	9,369	総事業費(千円)	10,052			
	市民1人当りの経費(円)	53	53	市民1人当りの経費(円)	57			
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)				

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	○-2. 適正な受益者負担を導入している
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	○-2. 既に市民等と協働して適切に事業を実施している
		協働実施済の場合のパートナー 鎌倉郷土芸能保存協会 NPO法人鎌倉考古学研究所
事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す → <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他 見直しの内容 事業へ統合
予算規模の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 各事業において、公開・活用を増やすことで、見学者、客数が増え、より多くの人々に市内の文化財についての理解を深めてもらうための取り組みを実施するため、予算規模を拡大する。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	各種事業の実施により、文化財の周知・啓発に努めてきたが、十分とは言えない。さらなる創意工夫、自発的活動が必要である。平成27年度から、出土品の庁内展示等を行うなど、公開の機会を増やしたが、まだ多くの市民には周知されておらず、また、収蔵施設に保管されたまま活用できていない出土品も多く存在している。	

平成28年度事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	機会をとらえて周知・宣伝等を行ってきたが、十分とは言えない。出土品の展示場所の確保、再整理済み出土品の活用が十分に行えていない。	
課題解決のために行った平成28年度の取組	市民や、市内の子供たちへの啓発事業として、市民や近隣小学校へ周知し発掘調査現場の見学会を実施した。 市民、市役所職員への啓発事業として、本庁舎文化財課カウンター前に展示している出土品の展示替えを行った。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	遺物の展示場所の確保が十分とは言えない。再整理済み出土品のより良い活用方法についても、今後検討していく。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方									

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	鎌倉市遺跡調査・研究発表会観客数						単位	人	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31	実績値が減少しているのは、平成28年から、延べ人数ではなく、入場者の実数を実績値としたためである。目標値も、平成29年度以降は実数とする。			
観客数が多いほど、より多くの市民が、市内の埋蔵文化財への理解を深めていると判断できるため。	目標値	280.0	280.0	280.0	200.0	200.0	200.0				
	実績値	280.0	280.0	120.0							
	達成率	100.0%	100.0%	42.9%							
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	公開・活用の場を増やし、見学者、客数が増えることで、より多くの人々に市内の文化財についての理解を深めてもらうことができる。										